

**令和 5 年度
国分寺市立福祉センター・国分寺市生きがいセンターとくら
事業報告書**

1. 指定管理者： 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2. 現場責任者： 菅田 正彦
3. 連絡先☎： 042-324-4681

目 次

- I 管理業務等の体制及び実施状況(管理業務及び自主事業)
- II 決算状況等及び施設の利用実績
(決算収支状況、使用料徴収実績、公の施設の利用実績(利用者数、利用不承認等の件数・その理由))
- III 従業者育成にかかる研修実施状況
- IV 利用者意見及び自己評価(利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価)
- V 苦情対応に係る記録
- VI 事業計画書に掲載した計画の実施状況
- VII その他管理の実態を把握するために必要な事項
*別紙：①令和 5 年度 施設保全定期点検・維持管理報告、令和 5 年度特別点検・修理修繕報告
②令和 5 年度 収支決算書
③令和 5 年度 福祉センター会議室施設月別利用状況
④令和 5 年度 生きがいセンターとくら月別利用状況
⑤令和 5 年度 施設利用者アンケート集計結果
⑥令和 5 年度 事業実施状況 指定管理者自己評価票
⑦令和 5 年度 指定管理者 苦情受付・対応件数報告書

*別添 ・収支決算書の一般管理費(本社経費)算定根拠

I 管理業務等の体制及び実施状況(管理業務及び自主事業)

1. 人員配置計画

館長：1名 常勤：2名 非常勤職員：4名 夜警職員（非常勤）：2名

館長は全体の管理責任者として、福祉センター・生きがいセンターとくらの施設管理と来館者対応、また、講座事業、自主事業等を管理しました。勤務体制は常時 3～5 名（日曜日は 2～3 名）平均で交代勤務制としました。各イベント等状況に合わせて、多数の来館者が見込まれる場合は非常勤スタッフを増員配置して対応いたしました。

防火管理者については、館長を防火管理者として配置しました。

2. 施設の維持管理

(1) 建物の維持補修に関する点検方法

法令に則した点検の必要項目を明確にし、法令規格の遵守・無駄・無理・不良の点検を行い、点検業者からの点検報告は適宜市主管課へ報告しました。また、エレベーターは月 1 回の点検業者の点検報告を確認し、日々の巡回においても注意を払いました。なお、令和 5 年度は 3 年に一度の空調設備のフロンガス点検を実施しました。

*別紙① 令和 5 年度施設保全定期点検・維持管理報告、特別点検・修理修繕報告 参照

(2) 機器保全策

施設運営に必要不可欠な重要設備を把握しました。過去の保全・劣化経緯を明確にした後、現在の機能維持に不可欠な保全を重点施策としました。市主管課および関連部署による保全策実行にあたっては、施工業者がスムーズに工事ができるよう立ち合いも含め協力しました。

(3) 危険防止・修繕について

利用者の安全や安心を確保し続ける事が、安定したサービスを提供する基礎となります。特に子どもたちは、施設内にある「地域活動支援センター虹」の利用者を含め幅広い利用があるため、大人が想定していない遊びや行動から事故につながる事もあります。職員の日々の問題意識を高く持ち大事故につながる要因を未然に防ぐため、適正な導線・備品等の配置・整理整頓を心掛け、管理を徹底しました。

- ① 毎年度の繰り返しの訓練からより迅速な行動を身に付けるために令和 5 年度も自衛消防訓練を実施しました。Ⅶその他管理の実態を把握するために必要な事項に後述。
- ② 国分寺市個人情報安全管理措置基準に則った個人情報保護、震災・防犯、障がい者対応について、各マニュアルに沿った研修を実施し、事件・事故発生時の行動および予防するための日常の対応につとめました。研修内容については後述。
- ③ 危険箇所を発見したときには、迅速に危険箇所に注意書きを掲示し市主管課担当者に報告し相談の上で対応をしました。令和 5 年度は、福祉センター入口前までのスロープに敷いてあった劣化したラバーの撤去、また、道路に面して設置してあった劣化著しい掲示板も撤去していただき安全確保に努めることができました。
- ④ 修繕箇所はいつ、どのように修繕が必要になったか、どのような対処を行ったかを業務日

誌他に記録を取りました。

＊別紙① 令和5年度施設保全定期点検・維持管理報告、特別点検・修理修繕報告 参照

(4) 清掃及び環境衛生管理

・美観や空気環境（におい、温度、湿度）特に、受付・トイレの美観は留意項目として日常重点的に対応しました。清掃に必要な薬剤等は床材の品質に合ったものを使用し、健康に留意し必要最低限の使用に制限しました。

- ① 施設内の清掃を毎日行い、日々衛生的な環境を整え、室内のゴミ、ほこり、水回り、トイレについては、職員が巡回点検を行い、常に清潔に保ちました。
- ② 基本的な感染防止対応としての手洗いの励行が日常化しました。
- ③ トイレをきれいに使って頂けるよう利用者に注意を呼びかけました。
- ④ 1F ロビー、2F フリースペースに観葉植物の植木鉢を継続して設置しました。また、グリーンカーテンを正面玄関左横に設置しました。今回はフーセンカズラに加えドリチョス・ラブを植え、来館者にも好評でした。

(5) 保安警備

① 保安警備

開館中の警備上の問題は発生しませんでした。夜間の警備は機械警備となっていますが、警報の発報はありませんでした。異常が発覚した場合は責任者と職員に連絡が入る体制を整えました。

② 鍵の管理

職員全員が鍵の保管・管理について責任を持ち、鍵の紛失・破損をしないよう徹底し、紛失・破損は発生しませんでした。また、貸出表を作成し、鍵の所在を明確にしました。

II 決算状況等及び施設の利用実績

・決算収支状況

＊別紙② 令和5年度収支決算書 参照

・施設の利用実績

＊別紙③ 令和5年度福祉センター会議室施設月別利用状況 参照

＊別紙④ 令和5年度生きがいセンターとくら月別利用状況 参照

III 従業者育成にかかる研修実施状況

・事業所職場内における研修は10回を計画し計画通り以下の内容で実施しました。

令和5年度 実施研修一覧

月日	研修名（事業所内）	内 容
4/14	個人情報保護について	「はじめての個人情報保護法」（シンプルレッスン）のテキスト

		トに従って研修
5/17	防犯研修	防犯マニュアルに沿って予防対策、応急対策での取るべき行動について研修
6/15	食中毒・アレルギーについて	食中毒・食物アレルギーの基礎知識について学習
7/19	マナー・接遇研修	気持ちよくご利用いただくために、接遇マナー5原則に従い具体的な行動について研修
8/18	苦情対応研修	利用者の苦情に対する基本姿勢と対応の手順、方法、傾聴と記録について研修
9/20	通報訓練について	11月に行われる消防訓練に向けて、火災時、地震時の通報について
10/14	認知症・障がい者対応について	認知症の方への接し方として3点の基本ポイントをあげて研修
11/11	消防訓練-避難誘導他	当日の役割担当、留意事項について確認
1/13	ハラスメント防止研修	パワハラ、セクハラ、マタハラ等の解説を受けてセルフチェックを実施
2/10	利用者アンケートと対応	アンケート内容を全員で共有

- ・国分寺市や外部団体で行われている外部研修については、令和5年6月29日と令和6年2月21日に開催された国分寺市地域福祉推進協議会を研修として捉え参加しました。その中で紹介された市内の事業者の参考となる取組み事例は職員と共有しました。また、グループ討議のなかでは他の事業者と意見交換ができました。
- ・当法人本部主催のコンプライアンスに関する集合研修に参加し、職員へも周知しました。

IV 利用者意見及び自己評価（利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価）

1. 「利用者協議会」は「福祉センターまつり」の話し合いを中心に実施し、また、「センターの運営」の改善を図るための協議会でもありました。新型コロナウイルス感染拡大防止観点から長らく休眠状態でしたが、令和5年度は「福祉センターまつり」の4年ぶりの再開に向け協議会が再開されました。「利用者協議会」を核とした「福祉センターまつり実行委員会」は4回開催され、「福祉センターまつり」の復活に繋げることができました。

2. 利用者アンケートにつきましては令和 5 年 12 月に実施しました。集計結果は冊子にして閲覧できるようにしました。

*別紙⑤ 国分寺市立福祉センター・生きがいセンターとくら施設利用者アンケート集計結果
参照

・指定管理者の自己評価

*別紙⑥ 事業実施状況指定管理者自己評価票 参照

V 苦情対応に係る記録

- ・令和 5 年度は苦情認定としたものは福祉センターで 0 件、生きがいセンターとくらで 0 件でした。

*別紙⑦ 令和 5 年度指定管理者 苦情受付・対応件数報告書参照

VI 事業計画書に掲載した計画の実施状況

利用者増のための取組み

福祉センター・生きがいセンターとくらの共通の取組み

(1) センターの活動や取組み及び地域の情報発信

福祉センター・生きがいセンターとくらで取組む企画の告知を、センター内の掲示板や「とくらかわら版」などで発信しました。入館者は全てロビーを通るので、お知らせ事項や館内の情報発信は、見えやすいよう掲示しました。ロビーに立ち寄り、福祉センター・生きがいセンターとくらの活動を知っていただくことができました。また、地域の様々な活動の情報発信の場として掲示板や国分寺市報等を収納するラックが利用者に有効に活用されるよう工夫しました。

(2) 自主サークルや自主活動の設立支援

地域生きがい交流事業講座終了後、自主サークル立ち上げを側面的に支援することを目指しましたが、令和 5 年度は全ての講座が継続したため、自主サークルの立ち上げはありませんでした。令和 6 年度 1 期に向けては、1 講座（筋力アップ GYM）の応募者が大幅に増加し受講できない参加者があらかじめ見込まれましたので、事前に自主サークルの立ち上げを支援しました。令和 6 年度より自主グループとして活動予定となっています。

(3) 地域の関係各機関との連携

国分寺市立第十小学校、シルバー人材センター、社会福祉協議会、地域包括支援センター、けやきの杜、各種行政機関、近隣福祉施設、近隣の大学などと連携・交流を図る予定でしたが、上記各機関の内、シルバー人材センター、社会福祉協議会、けやきの杜にはセンター内の行事にご協力いただき、また、国分寺市立第十小学校には、みんなの食堂、ハロ

ウィンイベントや書初め展の出品にご協力いただきました。1月の第十小学校の学年別習字実習においては、習字の立会いサポートを依頼され、書道講座受講生に手伝っていただき、校内行事に協力しました。

① 国分寺市社会福祉協議会法人会員

令和元年度より社会福祉協議会の法人会員となり継続して令和5年度も会員となりました。社会福祉協議会発信の情報は出来るだけ共有し、電話や窓口での対応がスムーズにできるよう努めました。同じ館内に事務所があることから、空いている会議室の問合せおよび貸出しの依頼や、掲示物の依頼に協力しました。また、事務所内の軽微な修理等についても対応しました。

② シルバー人材センターへの業務委託と会員増加への協力模索

引き続き地下1階の清掃業務を委託し、シルバー世代の職業支援への協力をしました。また、会員増加に向けた協力を模索する中でシルバー人材センターからのポスター掲示依頼等は協力しました。

③ 戸倉自治会との連携、自治会入会

令和5年度4月より自治会入会しました。自治会主催の8月の盆踊り大会（第十小学校校庭）では前日から当日まで準備に協力しました。また、視察研修にも参加し地域の方々と交流も深めました。福祉センターまつりの際はチラシの配布にご協力いただきました。

④ 国分寺市地域福祉推進協議会に委員として参加

令和5年度も当センター代表として館長が委員となり、会議に参加し他事業所会員との有用なコミュニケーションを図ることができました。

福祉センターの取組み

(1) 各イベントを自主事業イベントも含め積極的に推進

① 福祉センターまつり

新型コロナウイルス感染拡大防止策の制限が緩和されたことから、「利用者協議会」が核となり「福祉センターまつり実行委員会」を立ち上げました。11月26日（日）には4年ぶりに「第6回福祉センターまつり」を開催することができました。466名に来場いただき事故なく終了することができました。



② けやきフェスタ

けやきの杜主催の「けやきフェスタ」は、9月23日（土）に開催されましたが、当日は

ボランティアとしてお手伝いしました。

③ とくらカフェ「ARUKOT」：毎週金曜日実施

令和4年9月より再開したとくらカフェは令和5年度本格稼働した1年となりました。基本的には、毎週金曜日のみオープンでしたが、福祉センターまつり等のイベントにおいては臨時にオープンしました。年間50回実施し1,551杯、247,490円の実績でした。

④ みんなの食堂

令和5年度は5月にコロナ感染症が第5類に移行したのに従い感染予防に留意しながら、8月、10月、12月、2月の計4回開催することができました。10月29日（日）にはハロウィンイベントの一環として同じ当法人の運営する富士本地区の事業所と協力し、感染防止策を講じた上で「地域食堂&みんなの食堂」を実施しました。

開催日	参加者（人）
8月16日（水）	59
10月29日（日）	94
12月24日（日）	40
2月25日（日）	29

遊びの時間にはハンドベル演奏、マジック、紙芝居など高齢者の方々にボランティアで参加していただき、調理でもボランティアさんにご協力いただきました。異世代交流や安心して過ごせる居場所づくりの一端を担うことができました。

⑤ その他、子どもたち対象の行事

子どもたち対象の行事については上記のみんなの食堂で食後のイベントとして実施しました。8月は脳トレとマジック、10月はハロウィン（ゴミ分けゲーム・何が落ちるかなゲーム、暗闇探検ゲーム等）、12月はクリスマス（ハンドベル演奏、アドベントカレンダー作り等）、2月は紙芝居、昔遊び、駄菓子屋さん買い物ゲーム等で子どもたちを中心に高齢者も交えて交流を図りました。

生きがいセンターとくらの取組み

地域高齢者の憩いの場として、地域生きがい交流事業・自主事業・囲碁・将棋及びスカイウエルの運営を継続して行いました。大広間、多目的室については高齢者団体、高齢者福祉を目的とする団体に貸出できるようになっていましたが、令和5年2月からは公共施設予約システムでの予約が可能となりました。4月からも公共施設予約システムが定着するまで登録団体がスムーズに予約できるように丁寧に対応しました。

生きがいセンターとくらでの地域生きがい交流事業の講座は、4講座を実施しどの講座も人気の講座のため多くの受講生が参加されました。

自主事業では、「エンジョイライフスタディ講座」を前期6講座、後期4講座開講しました。また、「みんなの食堂」や「ハロウィンパーティー」「クリスマス会」等々、近隣の国分寺市立第十小学校の協力を得て、様々なイベントを開催し、地域交流・多世代交流を進めてきました。

① 地域生きがい交流事業

令和5年度は下記講座を計画の通り開講し、期ごとに発表会・交流会を実施しました。

(木)「楽しく筋トレ&ゲーム」 (金)「たのしい脳トレ運動」

(金)「日本画を描こう」 (土)「やさしい書道教室」

- ・第1期：延べ開講数 49 回・延べ参加者数 799 名
- ・第2期：延べ開講数 46 回・延べ参加者数 770 名
- ・第3期：延べ開講数 49 回・延べ参加者数 871 名

<令和5年度発表会・交流会>

- ・第1期・2期の発表会・交流会については、福祉センターを拠点にして他の3センター（こいがくぼ・ほんだ・ひかり）を含め1階ロビーにて実施しました。生きがいセンターとくら4講座に加え、同こいがくぼ4講座、同ほんだ3講座、同ひかり4講座の計15講座分を集積して実施しました。文科系講座の作品の展示、全講座の受講風景の写真や受講生の一言メッセージを入れ展示しました。また、体験や発表のコーナーを設けたり、茶話会形式の交流会等も行い、他の講座の方との交流や、講師同士の交流も出来、多くの方に講座を知っていただく機会を作りました。

第3期については、生きがいセンターもとまち、共にしまちを含めた6センター合同発表会・交流会を5年ぶりにcocobunjiプラザリオンホールにて開催致しました。

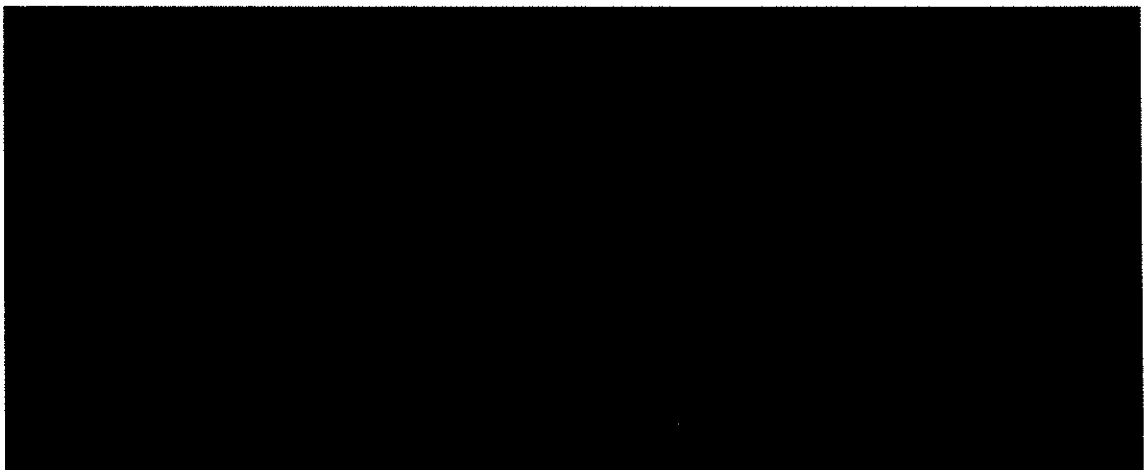
ステージ発表・展示・体験の発表会・交流会で、他のセンターの講座の様子等も知ることができ来場者も多く、客席と一体となったステージも好評でした。

今回、当法人が初めて中心となって発表会・交流会を進行することとなりました。初めての会場、合同発表会・交流会も5年ぶりでしたが、不慣れながらも、皆さんの協力もあり事故なく終わることができました。

- ・第1期：<展示期間>：7月22日～29日 <交流会>：7月29日
- ・第2期：<展示期間>：12月6日～15日（福祉センターまつりの関係で12月開催）
<交流会>：11月22日
- ・第3期：<合同発表会・交流発表会>：3月24日
cocobunjiプラザリオンホールにて開催。

ステージ発表（14講座）・展示ブース（8講座）・体験コーナー（2講座）を設置しました。230名のご来場があり、皆さん会場内作品を鑑賞されたり、体験したりし、楽しい時を過ごされていた様子が伺えました。

今回、水彩画と書道教室の講師お二人に依頼して、両講師の作品をクリアファイルに印刷し、そのクリアファイルをご来場の方に記念の品として配布いたしました。



② 介護予防事業

令和5年度は「健康パドル体操」の名称で毎月1回定期的に実施しました。

- ・毎月1回、年12回の実施：延べ参加者数142名（月平均：11.8名）

③ 敬老月間行事

- ・作品展示形式で「自慢の作品発表会」（高齢者対象）を開催しました。

期間：9月8日（金）～9月22日（金） 展示場所：福祉センター1Fカフェコーナー

参加者：3団体（12名）

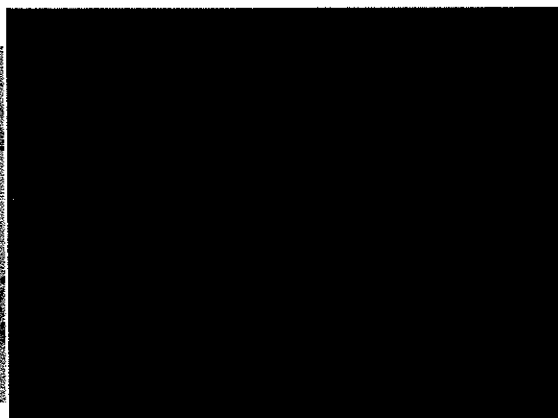
利用者の方や地域の方にご自慢の作品等を出品して頂き、来館者した方々に自慢の作品を鑑賞して頂きました。出品された方々も展示の機会が出来たことを喜んでいました。出品者とアンケートにご協力頂いた方々に粗品を配布しました。（

- ・コロナ禍のため開催を控えていた「囲碁大会」を4年ぶりに再開しました。

期日：9月17日（日）9:50～16:00 開催場所：生きがいセンターとくら大広間

参加人数：17名

リーグ戦で行い、上位3名に賞品を差し上げました。



④ 自主事業としてエンジョイライフスタディ講座を開講

- ・前期と後期の2回に分けて、受講生を募集しました。

前期は、「ビクターさんの英会話」「火曜日のヨガ」「四季を彩るハーモニー」

「わくわくマジック」「Hello English」「土曜日のヨガ」の6講座を開講。

後期は、英会話の講師の急逝により、「ビクターさんの英会話」と「Hello English」の2講座が無くなり、4講座で開講。

- ・講座名、開講数、参加者数は以下の通りとなりました。

〈前期〉 4月～9月 総延べ開講数 72 回 総延べ参加者数 945 名

ビクターさんの英会話：延べ開講数 12 回 延べ参加者数 110 名

火曜日のヨガ： 延べ開講数 12 回 延べ参加者数 162 名

四季を彩るハーモニー：延べ開講数 12 回 延べ参加者数 338 名

わくわくマジック： 延べ開講数 12 回 延べ参加者数 117 名

Hello English： 延べ開講数 12 回 延べ参加者数 49 名

土曜日のヨガ： 延べ開講数 12 回 延べ参加者数 169 名

〈後期〉 10月～3月 総延べ開講数 47回 総延べ参加者数 757名

火曜日のヨガ：	延べ開講数 11回	延べ参加者数 128名
四季を彩るハーモニー：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 329名
わくわくマジック：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 110名
土曜日のヨガ：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 190名

〈前期〉 + 〈後期〉 総延べ開講数 119回 総延べ参加者数 1,702名

VII その他管理の実態を把握するために必要な事項

1. 経費削減への取組み

節電・節水による光熱水費の節約、備品の破損などをなるべく起こさない指導、日常のメンテナンスの徹底を心掛けました。特に電気については夏・冬場の冷暖房期は室温コントロールをこまめに行うなど節電に努めた結果、令和3年度 29.8万Kw→令和4年度 25万Kw→令和5年度 23.7万Kwと継続して削減することができました。しかしながら、燃料費の高騰により使用料の大幅削減にまでは至りませんでした。

2. 環境への配慮

施設の環境面の管理（園芸・清掃等）は職員も行い、施設に愛着を持ち、安全など確認しながら管理できるように運営しました。また、館内美化を職員間で徹底、利用者にも協力を呼びかけ、使用する備品は詰め替えや再利用ができるものを使い、資源の再利用を心がけ、ゴミの分別・リサイクルを徹底しました。

3. 災害時への対応

令和5年度も自衛消防訓練を国分寺消防署戸倉出張所署員の指導の下、以下の通り実施しました。

日時：令和5年11月30日 場所：国分寺市立福祉センター

実施内容：2階料理実習室から出火した想定で火災時の避難および通報訓練を実施
避難訓練終了後、消火器扱い方訓練、消火栓・AEDの操作説明

参加者：福祉センター職員、社会福祉協議会、シルバー人材センター、地域活動支援センター虹の各職員および利用者で合計30名が参加しました。

4. その他

令和5年2月より新しく公共施設予約システムがスタートしましたが、4月以降もシステム予約に不慣れな利用者に対して丁寧に対応し、システム予約の定着に努めました。

令和5年度の総括

指定管理者2クール目の最終年の5年目となりました。9年間の施設運営経験を踏まえ、10年目である令和5年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止策の制限緩和により、ほぼ当初の計画通りに運営することができました。利用団体への働きかけ、第十小学校をはじめ

近隣諸施設との連携等が奏功し、各企画・イベント等も実施することができ、とりわけ 4 年ぶりの「福祉センターまつり」の成功裏での復活が象徴する行事となりました。いずれの企画も来館者に喜んでいただいたことで、交流の場としての役割を多少なりとも果たせたと思います。指定管理者として新たにスタート年となる令和 6 年度以降も、今まで以上に行政、関係団体、地域の皆様と協力し、福祉センター・生きがいセンターとくらの役割を果たしていきたいと思っています。

令和 6 年 5 月 31 日

